

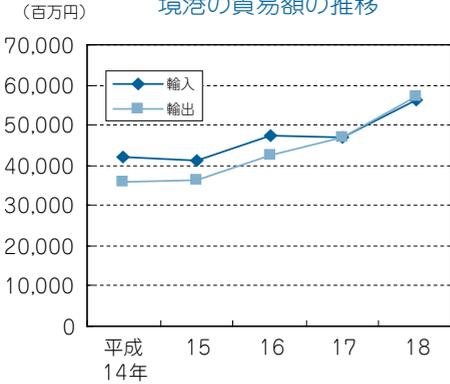
(貿易)

平成14年から平成18年までの貿易統計による境港の貿易額の推移を見ると、輸入・輸出額ともに増加傾向となっています。

平成18年の仕向地別貿易額の割合を見ると、輸入・輸出ともに「中華人民共和国」の占める割合が最も高くなっています。

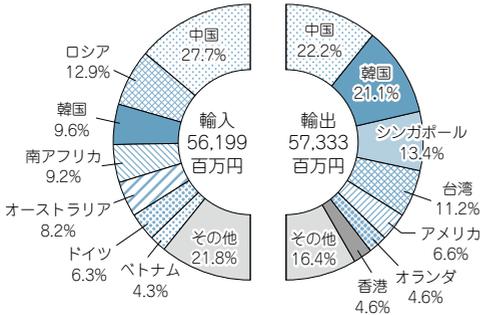
また、品目別貿易額の割合を見ると、輸入では「ウッドチップ」の占める割合が最も高く、次いで「木材」「科学光学機器」となっています。一方、輸出では「鉄鋼」の占める割合が最も高く、次いで「非鉄金属」「紙類及び同製品」となっています。

境港の貿易額の推移

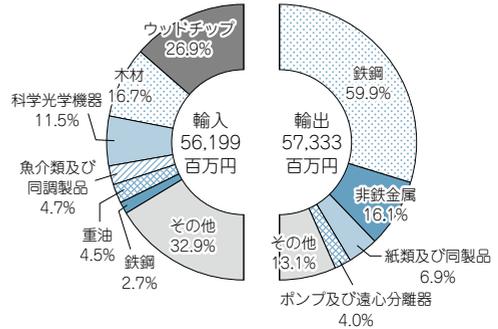


境港の仕向地、品目別貿易額の割合 (平成18年)

仕向地別



品目別



境港の貿易額

単位：百万円

項目	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
輸出額	35,952	36,377	42,383	46,905	57,333
うちアジアNIES	20,492	19,799	23,464	24,549	28,841
うちASEAN	3,446	3,789	6,003	8,258	10,407
輸入額	42,056	41,285	47,561	46,921	56,199
うちアジアNIES	2,288	3,821	2,895	4,808	5,414
うちASEAN	8,039	7,625	8,015	7,375	6,844
輸出入総額	78,008	77,662	89,944	93,826	113,532
外国貿易船入港隻数	932隻	938隻	835隻	721隻	772隻

資料 神戸税関「貿易統計」

アジアNIES・・・韓国、台湾、香港、シンガポール
ASEAN・・・タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア